

そよかぜ・6月

令和4年6月21日
箱根町立仙石原幼児学園

箱根教育・教育目標及び合言葉

「のびのびと心温かい箱根の子どもの育成」
～箱根を愛しかしこくやさしくたくましく～

仙石原幼児学園個性化目標

- ❖一人一人を大切に見守り、心豊かで意欲を育てる園づくり
- ❖「ありがとう」という声が響く園づくり(4園共通)

梅雨に入り、仙石原特有の濃霧に覆われる日も多くなるかと思われます。梅雨寒が続き、体調を崩しているお子さんもいますが、今週からは気温が上がりそうですね！引き続き体調管理に気をつけていきましょう。

さて、園庭の畑や駐車場脇のフェンス沿いには、花壇の一部は以前使っていた切り株やレンガを組み合わせてイングリッシュガーデンをイメージし、ひまわりや千日紅、日日草、マリーゴールドなどが生長しています。また、年長児が畑にキュウリやミニトマトなどの苗や枝豆、トウモロコシ、ひまわり、西洋朝顔の種を蒔き、毎日お世話をしています。その他、ゴーヤ、花豆、かぼちゃ、地域の方からいただいた朝顔の苗も育てて、草花や野菜を育てる過程で変化を感じ取り、好奇心をもって関わり、収穫を体験しながら大切に育てる気持ちや感謝の気持ちが育っていくことでしょう。子どもと一緒に楽しみながら、心の育ちを言葉として返していく保育者でありたいと思います。

メンズデー(6/2)

11名のメンズの方々参加があり、密を回避しながら、ゲーム遊び、ドッジボール、大型絵本の読み聞かせなど子どもと一緒に遊んだ後、園庭の環境を整備していただきました。男性の力強さ、ダイナミックさを感じながら、大人と遊ぶ楽しさを味わい、子どもたちは大喜びでした。コロナとの共存も少しずつできることを思案し、以前の形に近づけるよう、また新しい形で慎重に進めていきたいと考えています。



読み聞かせ

5月の引き続き、6月は、日にちと時間帯を多く設け、より多くの保護者の方が参加していただけるようにしました。たくさん来ていただき、子どもたちも職員もとても嬉しく思います。お父さんの参加もありました。民生委員さんにも読んでいただきました。

日頃、ご家庭で読むのと多数の子どもに読むのとは雰囲気は違いますが、読み聞かせが大好きな子どもたちです。じっくり聞く子どもの姿に感動しながら、やりとりを楽しんでいる保護者の方もいらっしゃいました。子どもたちが物語の世界に入り、心を耕している瞬間をぜひ体験してみてください。読み聞かせ初心者も大歓迎です！ご参加お待ちしております。



雨の日のお客様「モリアオガエル」

「雨宿りに来たかな?」「すごい!壁に引っ付いている」「落ちないんだね」「ぬるぬるが(窓に)ついてる～」子どもたちは歓声をあげて大喜びでした。大きさに驚く子ども、ゆっくり動く動作を真剣に見る子ども、どこから来たのだろうと不思議がる子ども…神秘さや不思議さなどそれぞれ感じ方は違います。最後は“森から来たんだからお家に返そう”と園庭に逃がしてあげました。ゆっくり帰っていく後姿を見ながら、無事にお家に帰ることを祈る子どもたち。

きっと子どもたちは空想の世界と現実の世界を行ったり来たりして楽しんでいるようでした。この感動がこれから様々な出逢い一つ一つを意味あるものとして心に刻んでいく



マスクの着用について

- ① 咳が出るなど風邪の症状がある時
- ② 健康診断の時
- ③ スクールバスや公共の乗り物に乗車している時
- ④ 感染の恐れがあるときなど園長の判断で必要とした時
- ⑤ 引き続き2歳未満のマスクの着用は奨めません。

保護者につきましては身体的距離が取れない中で会話をするときはマスクの着用をお願いします。